

挨拶

平田 直(国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンスプロジェクト総括)

首都圏レジリエンスプロジェクトの平田直総括は、「研究成果を産業界、民間、行政の皆さまに使っていただけるような技術開発をすることが非常に重要」と語りました。さらに「今年度は、テーマ別の6つの分科会を発足させ、より深い議論を進める方向に研究活動を進めてきた」と方針を説明しました。

平田氏はまた、千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15号について、防災科学技術研究所の「クライシスレスポンスサイト」を稼働させていることを紹介し、インターネット電話で参加した首都圏レジリエンス研究センター センター長補佐（プロジェクト連携担当）取出新吾氏につなぎました。



あいさつする平田氏

「台風15号(千葉県)に対する防災科研クライシスレスポンスサイトの対応」
取出 新吾(国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長補佐/首都圏レジリエンス研究センター センター長補佐(プロジェクト連携担当))

取出氏は、9月10日に防災科学技術研究所がISUT（インフォメーション・サポート・チーム）として千葉県庁に出動し、県庁で自衛隊らと一緒に活動したり、つくばではバックヤードで支援活動をしていることを説明しました。停電については、「東京電力からの情報を、それをクライシスレスポンスサイトおよびISUTに提供

している」としました。図表1は9月17日時点のもので、図表2が9月27日の午前8時時点のもので、停電が減ってきていることが分かります。

また、市町村が公開している給水情報や、自衛隊が運営している給水所・入浴支援、各市町村の断水情報などを一つのサイトに集約して公開しているほか、今回のクライシスレスポンスサイトを紹介するツイッターアカウントを解説したことも紹介しました。

